

新クリニック 移転特集



お蔭様で 無事2007年11月5日に、くどうちあき
夢舞台の第2幕が上がりました。医療の水先案内
人であるべく、スタッフ一同頑張ります。なんでも

ご相談ください。
よろしくお願い
致します。



ク
ロ
ー
バ
ー

22号

Vol,5 No,3



発行人・・・くどうちあき

<http://www.kudochiaki.com/>

発行元・・・くどうちあき脳神経外科クリニック

〒一四三・〇〇一六 東京都大田区大森北一・二・三・十

Tel・〇三・五七六七・〇二二六 Fax・〇三・五七六七・〇三二七



2階総合受付と待合室です。



オープン型MRI 閉所恐怖症の方にも大丈夫のように秘密のアイデアが隠されています。



3階はナースステーション(左)と点滴・検査待ちのフロア(右)です。



星空下のマルチスキャン・ヘリカルCT



点滴は旧クリニックと同じく、ゆったりソファで。アロマ、リフレのオプションもあります。



第2診察室は、脳ドックや臨床心理士によるカウンセリングに使われます。



人生は経験と感動の旅。命は必ず終わる時が来ます。私はその旅を無事終わることができるよう、肉体と心を整えるお手伝いをするために、いつも傍に侍(はべ)る主侍医でいたいと思います。医者とは、人間の寿命を無限に延ばすことはできません。



大野 彩画伯によるフレスコ画 ちあきの森

大野画伯は三鷹にあるジブリの森美術館の壁画を描かれた日本のフレスコ画の第一人者です。以下、画伯からのメッセージです。

新クリニック開院に当たって、英国で学ばれた、くどうちあき先生の故郷、長野にあるイングリッシュガーデンを取材しました。森に見立てられた待合室から、さわやかな庭園を眺めるといふ構想のフレスコ画です。クリニックに来られる方々にとって、癒しの空間となれば幸いです。



待合室の窓には清流が流れ落ち、夜は幻想的です。

院長コラム

21章

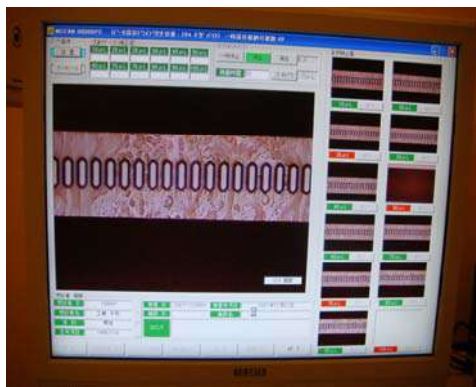
悠久なるフレスコ画

人類がはじめてラスコー洞窟に壁画を描いてから、どれくらいの日日が流れたでしょうか？ イタリアを訪れた時、中世の教会の大聖堂に大きなフレスコ画があったことを覚えています。幾多の戦乱と多くの人の往来を見つめてきたそのフレスコ画を前にすると、時の流れを忘れてしまいました。

新クリニックが2007年11月5日に移転オープンしました。クリニックの5メートルの壁に、日本のフレスコ画の第一人者である大野 彩(みさお)先生が、「ちあきの森」と題する大きなフレスコ画を描いてくださいました。大野先生は、宮崎 駿 監督の三鷹の森ジブリ美術館のフレスコ画をお描きになられた先生です。ちあきの森は、クリニックの待合室の森の中からイングリッシュガーデンを通じて遠い山の頂を望んでいます。鹿がのぞいていたりして、まさにクリニックが癒しの森でありたいというテーマの表現です。

新クリニックでも、よくわかる脳神経外科と皆様のお気持ちに少しでも接することのできる“心”療を指す、医療の水先案内人でありたいと思います。主治医であるとともに、いつも皆さんの傍にはべる主治医でいます。

人間の体は、寿命という一瞬の間しかこの世にはいません。漆喰にかかれたフレスコ画は、悠久の呼吸をしています。我々も、命がある限り魂の宿るこの肉体の手入れをして、いい呼吸をして生きていくつではありませんか！ 新年がよい年でありますように……



新クリニックでは、脳ドックをはじめ各種の健康ドックにも力を入れています。血液さらさらドックは、テレビでもお馴染みのMc-fan(左図)によるサラサラ度のチェックです。中性脂肪の高い方、脳梗塞、動脈硬化の心配な方は、是非受けてみてください。詳しくは当クリニックの公式ホームページ www.kudohchiaki.com をご覧ください。

旧クリニックの跡地では、くどうちあきと鍛えよう 元気だ脳！ (<http://genkidanou.kudohchiaki.com/>) という、脳専門のリハビリテーション・センターを始めました。これは保険に関係なく、もの忘れ

のある方もない方も、早くから脳を鍛えることを目的とし、脳の活性の状態によりクラス分けを行い、音楽療法士やアートセラピストなどの専門の講師を招いて連日行っています。是非皆さん、参加してみてください。

